

## 熊野川堆積土砂除去の取り組み状況

## 除去スケジュール

区間		除去全体予定量 (万m <sup>3</sup> )	H23	H24	H25	H26	H27	H28～
①河口～相賀	熊野川	400	[Red bar]					
	熊野川	16	[Red bar]					
①相賀～宮井	支川	11	[Red bar]					
	※河川管理者等が連携してさらなる堆積土砂の除去及び民間による砂利採取を調整中。							
②宮井～二津野ダム	熊野川	145	[Red bar]					
	支川	8	[Red bar]					
③二津野ダム上流	熊野川	173	[Red bar]					
	支川	39	[Red bar]					
④宮井～小森ダム	北山川	—	[Red bar]					
	支川	1.2	[Red bar]					
⑤小森ダム上流	北山川	9	[Red bar]					
	支川	4	[Red bar]					

(ダム管理区間は除く)

- ※ ①の区間以外においても各県独自に民間による砂利採取の適用について実施もしくは調整が進められている区間がある。  
 ※ 除去予定量は現時点での値であり、変動する可能性がある。

## 熊野川堆積土砂除去の取り組み状況

## 凡例

## 区間名

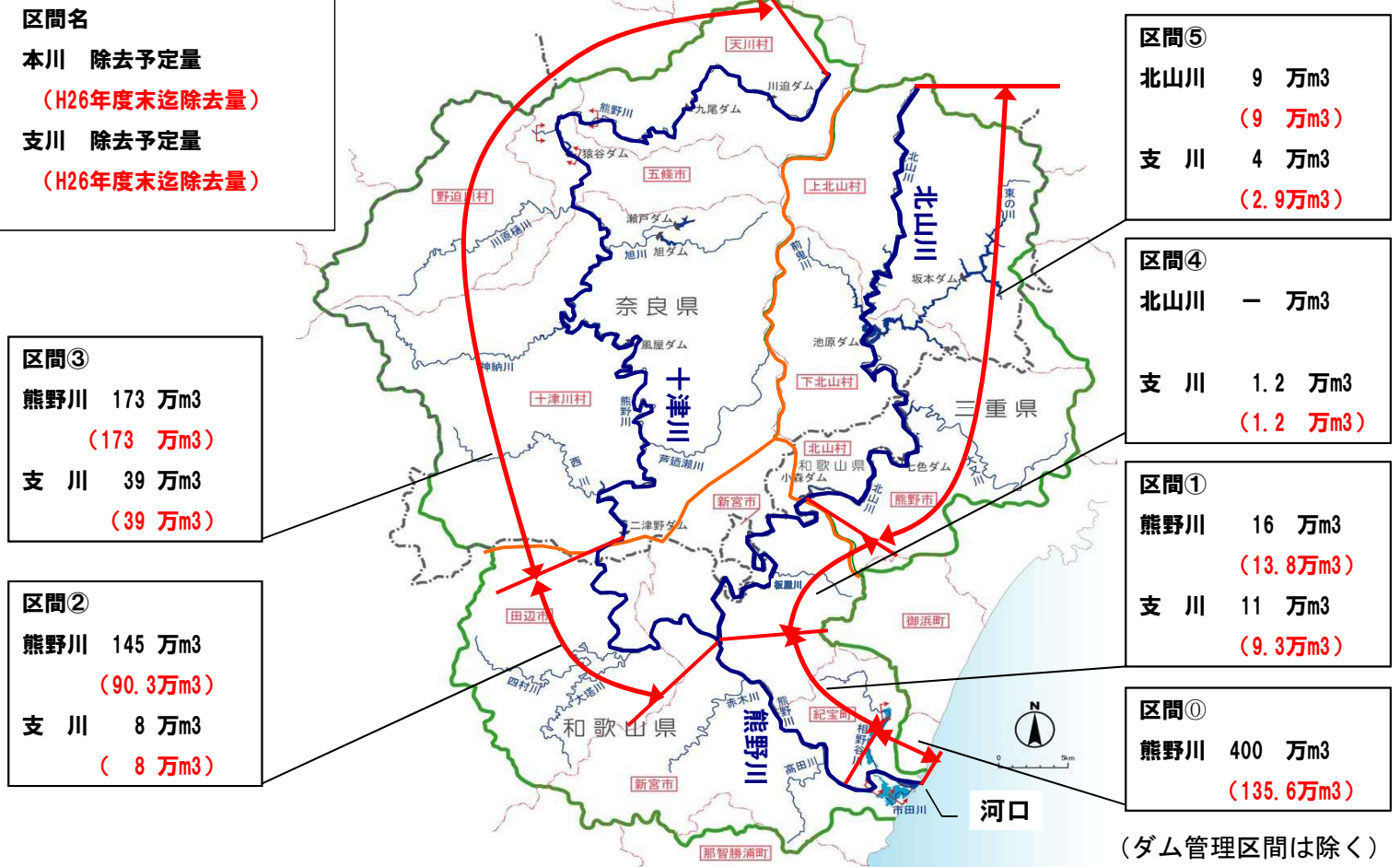
本川 除去予定量

(H26年度末迄除去量)

支川 除去予定量

(H26年度末迄除去量)

H26.11末時点



# 熊野川(直轄上流端～北山川合流点)における堆積土砂の対応状況



# 激特事業等の実施状況について

近畿地方整備局

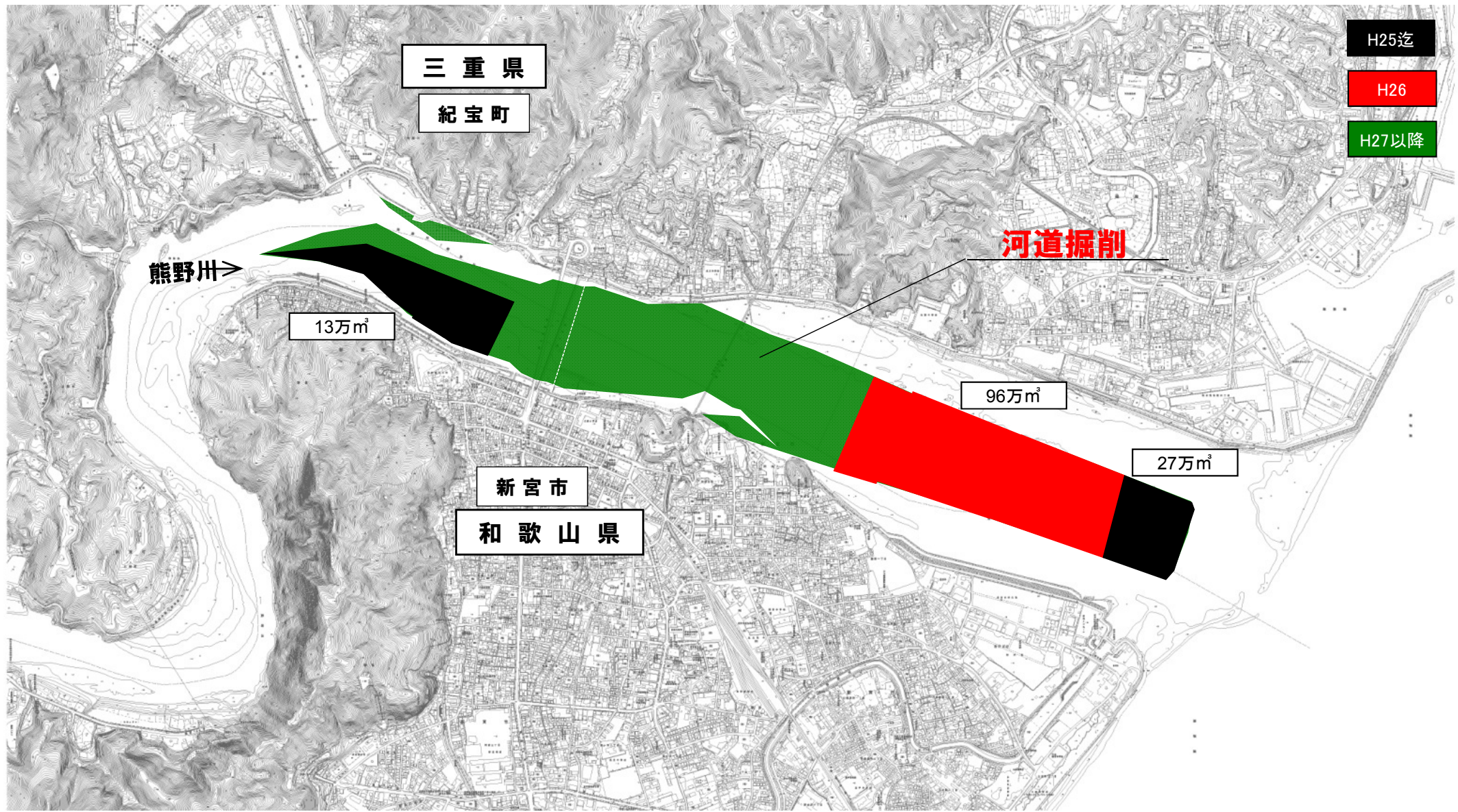
紀南河川国道事務所

# 熊野川激特事業等工程

工事内容		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
激特事業	掘削工 <span style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">根固め工含む</span>						
	築堤工 <span style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">堤防補強含む</span>						
	排水機場耐水化						
	橋梁対策 <span style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">JR熊野川橋梁 新熊野大橋の補強</span>						
災害事業	河川管理施設復旧						
	熊野川護岸 等						
	相野谷川輪中堤嵩上げ 等						
改修事業	矢湊地区高潮堤						
	あけぼの地区高潮堤						
	水門・樋門耐震対策						
	光ファイバ・CCTV設置 (津波・浸水対策)						

※工程は予算年度による

# 熊野川激特事業実施状況(河道掘削)



# 熊野川激特事業実施状況（河道掘削）

## 掘削状況

H25年度まで : 約40万 $m^3$   
H26年度（11月末現在） : 約47万 $m^3$

H25年10月より稼働



【バックホウ浚渫船】 河道掘削状況

H26年10月より稼働



【リクレーマー船】 掘削土砂の揚土状況

H26年7月より稼働



【水中ブル】 河道掘削状況



位置図

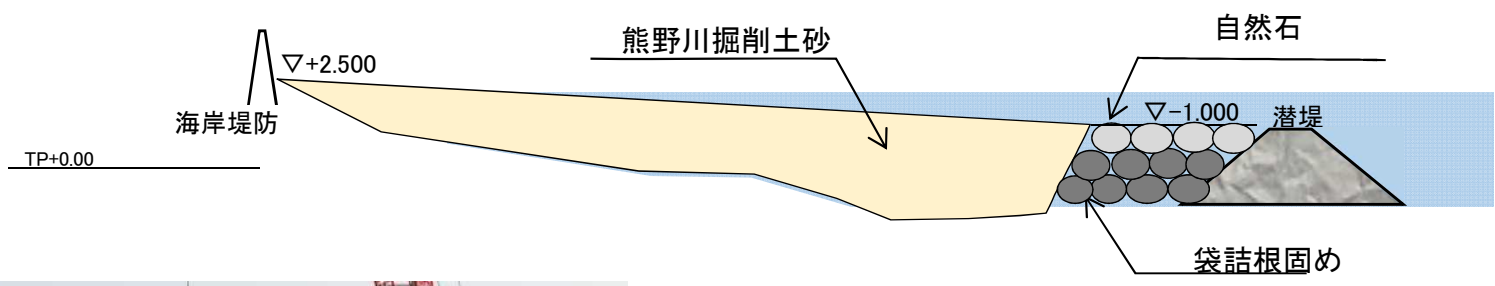
H26年10月より稼働



【グラブ浚渫船】 河道掘削状況

# 七里御浜（鵜殿海岸）土砂搬入概要

標準断面図（鵜殿海岸）



H26 5.9 撮影



H26 5.9 撮影



H26 12.17 撮影

# 紀宝町深田運動場 復旧状況

## 施工前

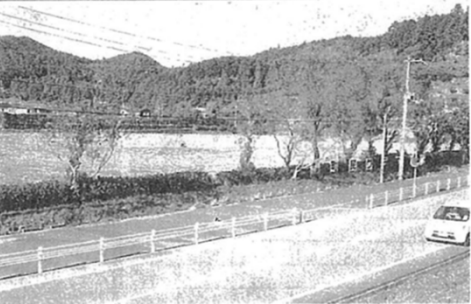


### 紀宝町 深田運動場復旧に着手 熊野川掘削土砂を有効活用

紀宝町教育委員会は3日、熊野川の掘削土砂を有効活用して4日から町立深田運動場「大里」の復旧工事に着手すると発表した。

運動場の面積は1万2600平方メートル。野球大会などスポーツイベントに活用されてきたが、2011年9月の台風12号で相野谷川が氾濫し、運動場や防球ネットが損傷した。その後、災害ごみの仮置き場として運動場を利用。山積みとなったが、れきは昨年12月までに撤去し、6月末には損傷した防球ネット、トイレ、ベンチの処理も終わっている。

発表によると、国交省紀南河川国道事務所の協力で、同事務所が実施している熊野川の河道掘削工事で発生した土砂のうち約1万立方メートルを運動場の盛り土に活用する。こ



熊野川掘削土砂の搬入を待つ深田運動場 = 4日、紀宝町大里

(夏田敬明)

熊野新聞(平成25年12月7日)

## 施工後



### 紀宝町 運動場の復興祝う 約千人集い記念式典と運動会



紀宝町大里にある深田「パン食い競争など」で栄えてきた。複合遊具設備も運動場で11月30日、完成を祝う記念式典と町民運動会が催された。小春日和の天候に恵まれ、約1000人(主催者発表)の町民が新しいグラウンドの感懐を確認しながら

同運動場は2011年9月に発生した記併半島大水害(台風12号)以降約1年半、がれきや浸水の感懐を確かめた。秋晴れの下でかけこを楽しむ幼児たち



(夏田敬明)

熊野新聞(平成26年12月5日)





# 砂利採取事業者による土砂搬出

## 現時点の状況

H25/10/22

河川法第25条及び砂利採取法第16条

許可及び認可

(鷺熊砂利生産販売協同組合)

・H25/10/28 砂利採取事業者 搬出開始

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	全体
予定土石量	30万m <sup>3</sup>	70万m <sup>3</sup>	50万m <sup>3</sup>	50万m <sup>3</sup>	200万m <sup>3</sup>
実績数量	12万m <sup>3</sup>	18万m <sup>3</sup>			

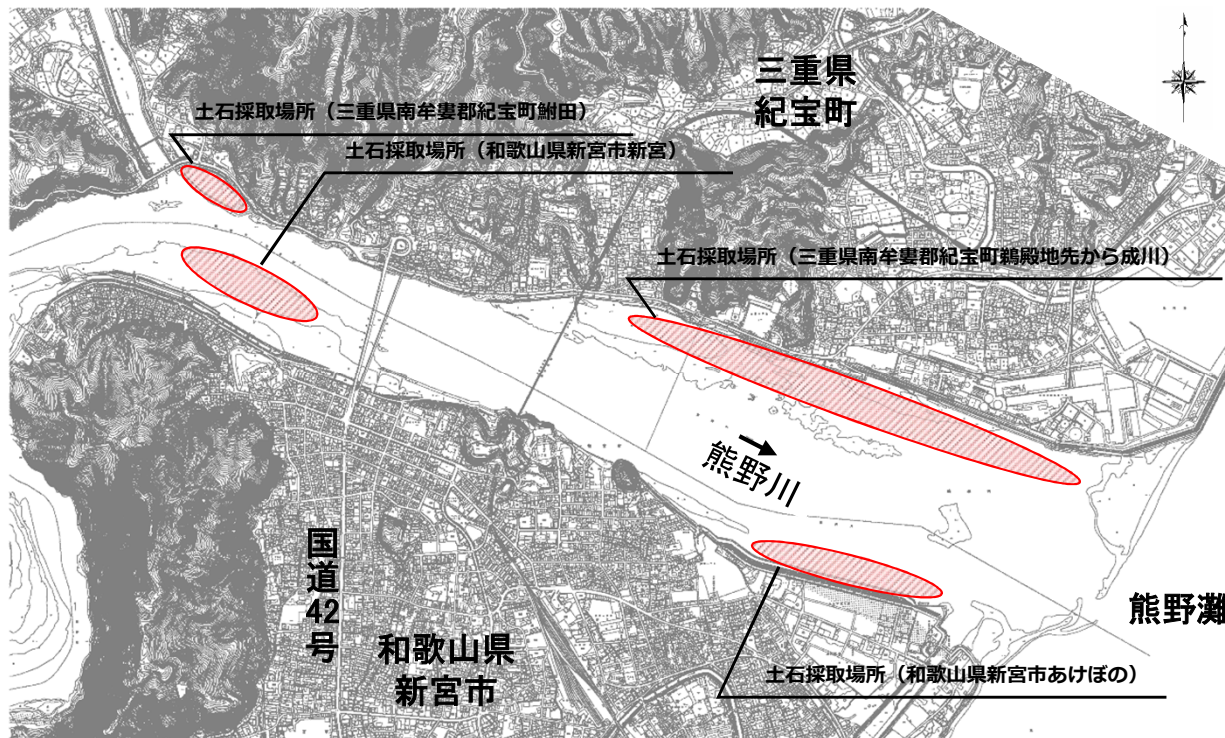
実績数量は平成26年11月末時点

- ・土石採取事業者 : 鷺熊砂利生産販売協同組合 (紀宝町鮎田)  
代表理事 岡本 一彦

※今回の許可・認可

- ・土石採取量 : 32万m<sup>3</sup> (現在までの許可総量)
- ・許可及び認可期間 : 平成25年10月22日～平成27年3月2日  
(当初許可日平成25年10月22日)

## ◆土石採取場所



※採取は、河川管理者が土石採取場所に仮置した掘削土石を土石採取者に採取させるものです。

平成26年12月

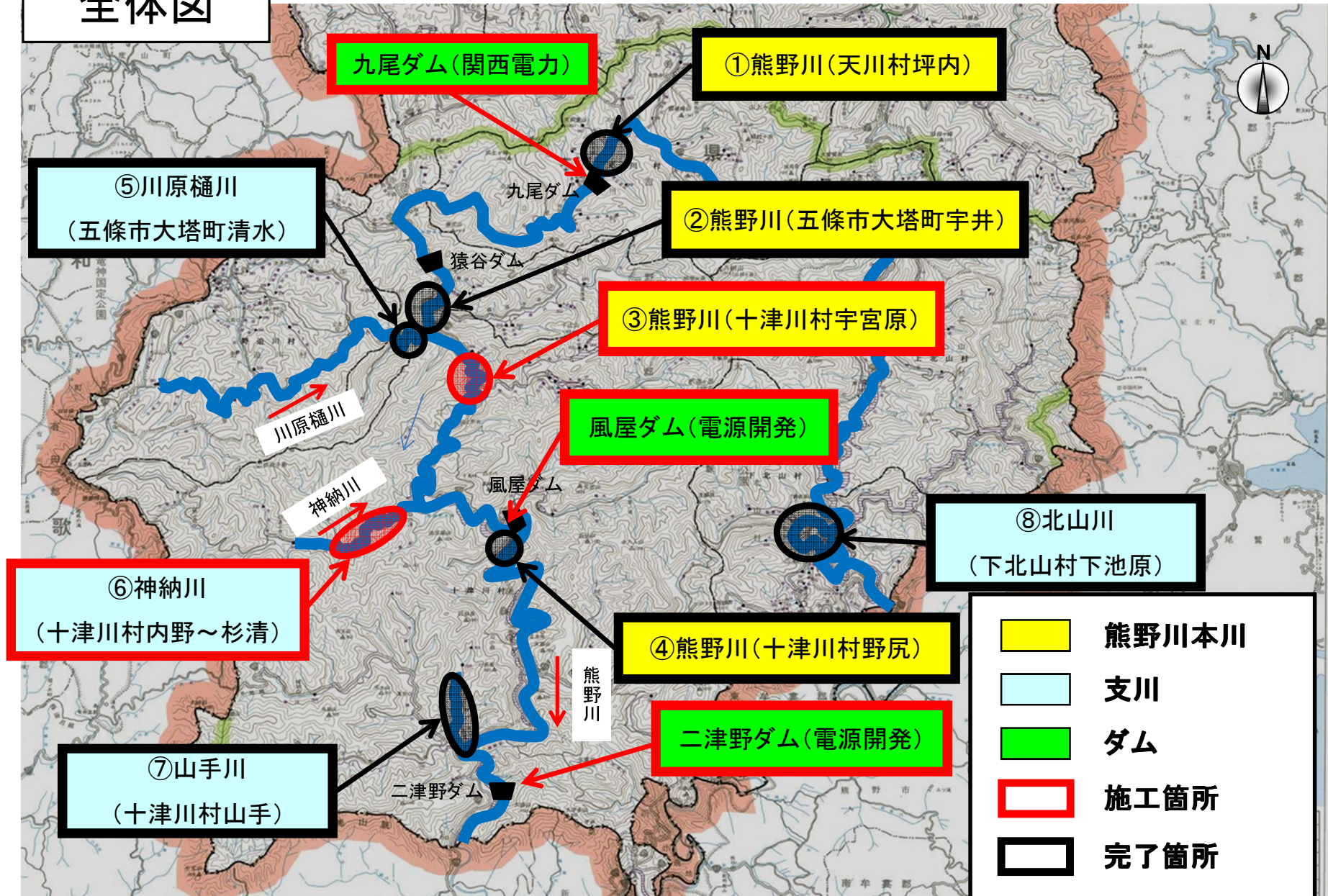
# 堆積土砂対応の状況について

奈良県 県土マネジメント部 河川課

# 1. 堆積土砂撤去の進捗状況

(奈良県・電源開発・関西電力・国土交通省)

## 全体図



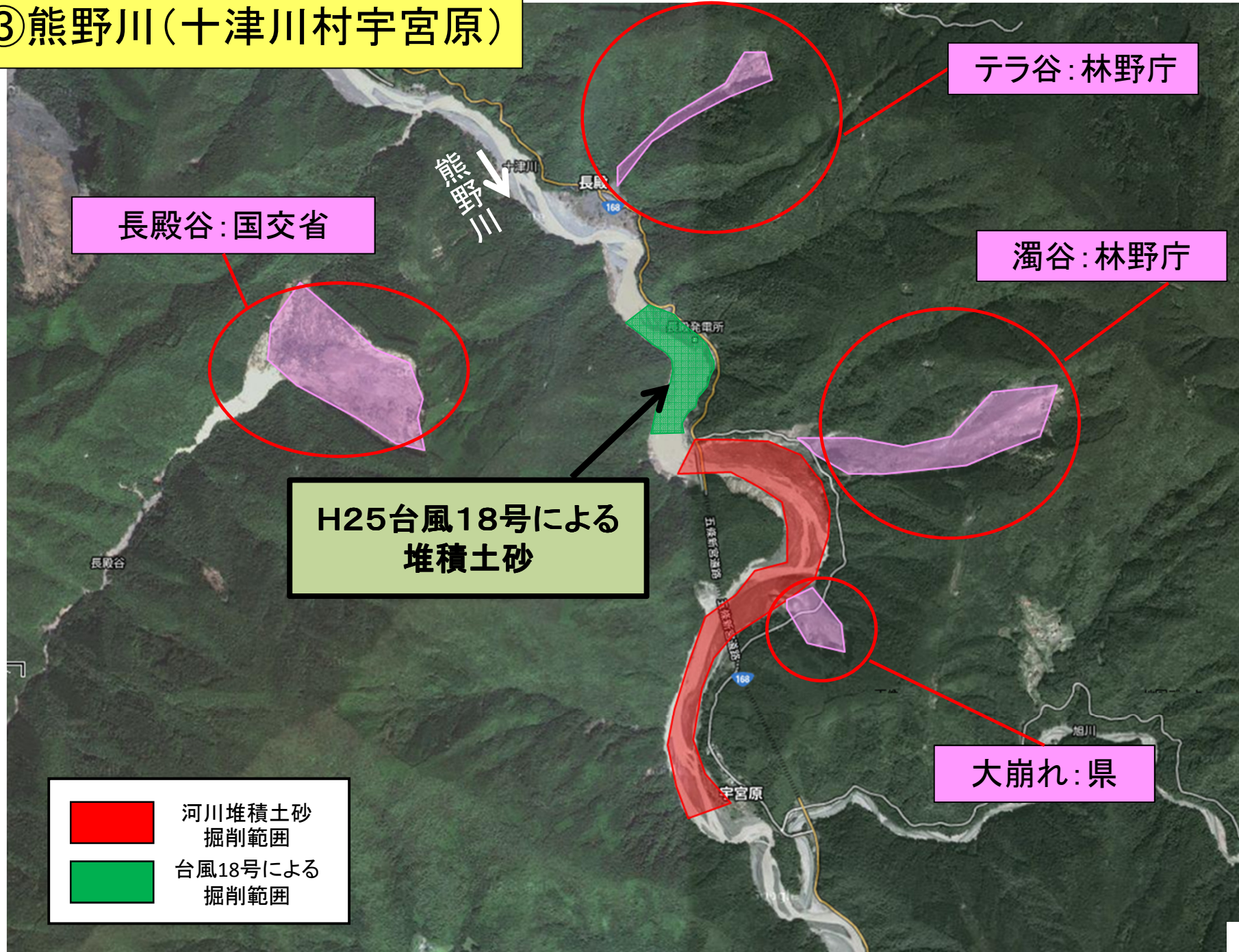
# 堆積土砂撤去 工程表(奈良県施行分)

河川名	箇所	撤去土砂量	H23	H24	H25	H26	H27
熊野川	① 天川村 坪内 (つぼのうち)	8万m <sup>3</sup>		■ 完了			
	② 大塔町 宇井 (うい)	47万m <sup>3</sup>		■		完了	
	③ 十津川村 宇宮原 (うぐはら)	112万m <sup>3</sup>			■		完了
		(台風18号分12万m <sup>3</sup> )					■
④ 十津川村 野尻 (のじり)	6万m <sup>3</sup>			■	完了		
川原樋川 (かわらびがわ)	⑤ 大塔町 清水	14万m <sup>3</sup>		■		完了	
神納川 (かんのがわ)	⑥ 十津川村 内野～杉清 (うちの) (すぎせ)	21万m <sup>3</sup>			■		完了
		(台風18号分24万m <sup>3</sup> )				■	
山手川 (やまてがわ)	⑦ 十津川村 山手 (やまて)	4万m <sup>3</sup>		■	完了		
北山川	⑧ 下北山村 下池原	9万m <sup>3</sup>		■	完了		
				全体	85%	100%	
				(H25台風18号分は除く)			

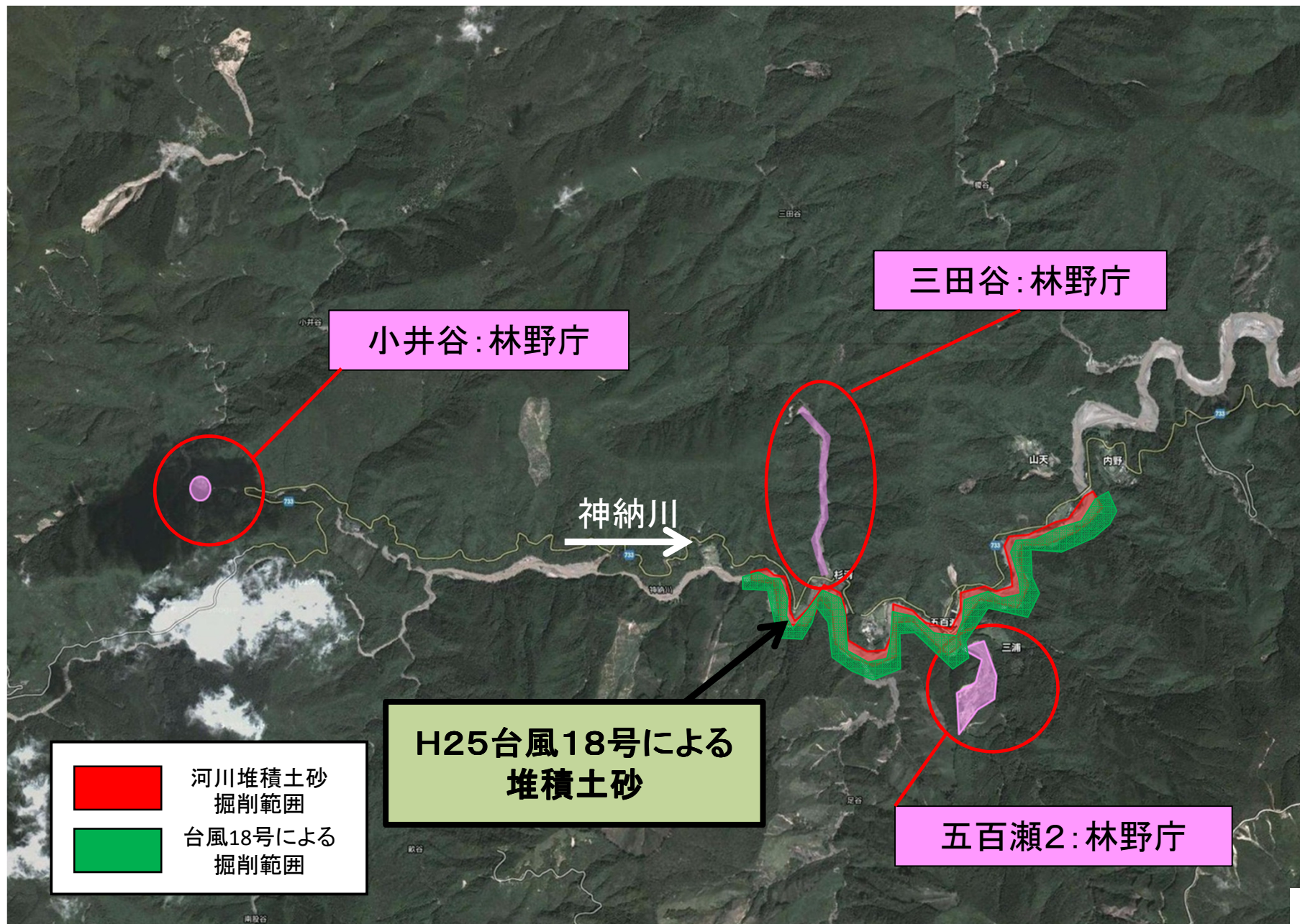
平成27年度  
完了予定

平成27年度  
完了予定

### ③熊野川(十津川村宇宮原)

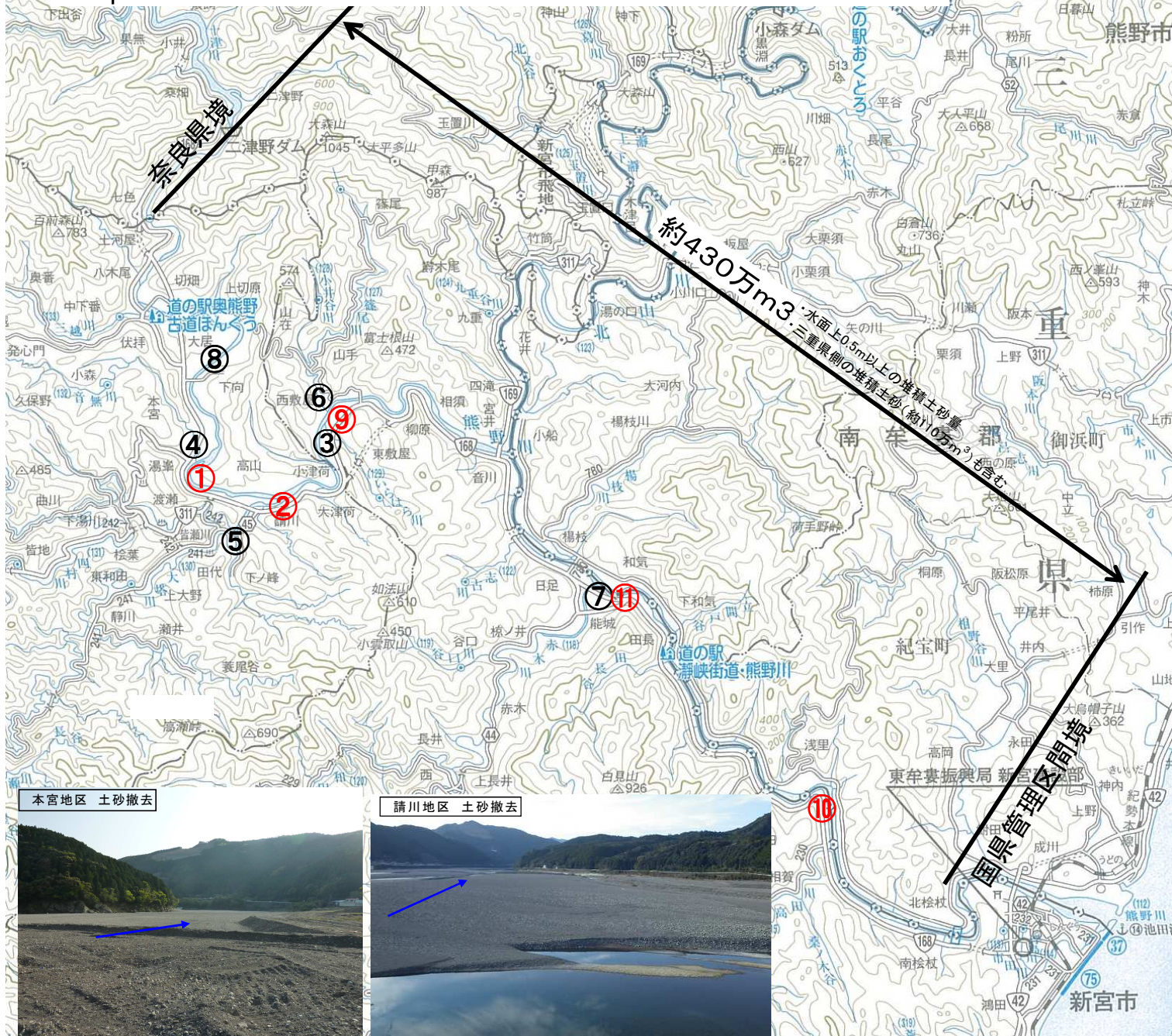
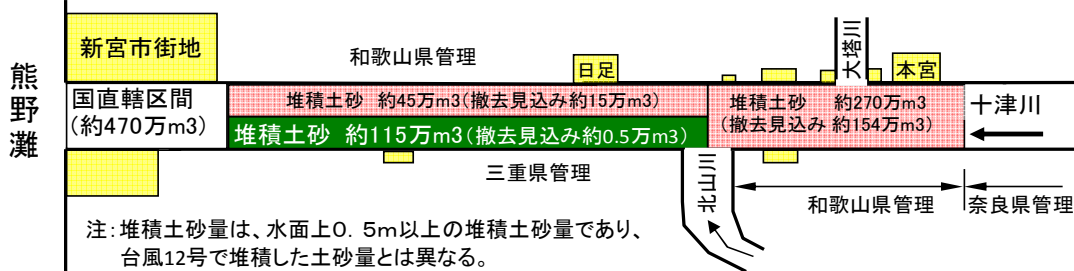


## ⑥神納川(十津川村内野～杉清)



# 河道内堆積土砂対応状況【和歌山県】

平成26年12月現在



本宮地区 土砂撤去



請川地区 土砂撤去



## 土砂撤去状況

NO	河川名	地区名	工事名	実施主体	H24まで	H25掘削量	H26掘削予定量	総掘削量	計画年度
①	熊野川	田辺市 本宮地区	水防災	県	約 11万m <sup>3</sup>	約 5万m <sup>3</sup>	約 10万m <sup>3</sup>	約 40万m <sup>3</sup>	~H28
②	熊野川	田辺市 請川地区	20条工事	市	約 15万m <sup>3</sup>	約 15万m <sup>3</sup>	約 14万m <sup>3</sup>	約 44万m <sup>3</sup>	H24~H26
③	熊野川	新宮市 東敷屋	一般採取	民間	約 2万m <sup>3</sup>	-	-	約 2万m <sup>3</sup>	~H24
④	音無川	田辺市 一本松地区	国災	県	約 1万m <sup>3</sup>	-	-	約 1万m <sup>3</sup>	完了
⑤	大塔川	田辺市 川湯地区	県災	県	約 6万m <sup>3</sup>	-	-	約 6万m <sup>3</sup>	完了
⑥	篠尾川	新宮市 西敷屋	県災	県	約 1万m <sup>3</sup>	-	-	約 1万m <sup>3</sup>	完了
⑦	熊野川	新宮市 日足地区	推進費	県	-	約 7万m <sup>3</sup>	-	約 7万m <sup>3</sup>	H24繰
⑧	熊野川	田辺市 東敷屋	推進費	県	-	約 20万m <sup>3</sup>	-	約 20万m <sup>3</sup>	H24繰
⑨	熊野川	新宮市 東敷屋	一般採取	民間	-	約 5万m <sup>3</sup>	約 1万m <sup>3</sup>	約 40万m <sup>3</sup>	概ね5年間
⑩	熊野川	新宮市 相賀	一般採取	民間	-	-	約0.3万m <sup>3</sup>	約 3万m <sup>3</sup>	概ね5年間
⑪	熊野川	新宮市 日足地区	推進費	県	-	-	約 5万m <sup>3</sup>	約 5万m <sup>3</sup>	H26
合計					約 36万m <sup>3</sup>	約 52万m <sup>3</sup>	約 30万m <sup>3</sup>	約 169万m <sup>3</sup>	

# 新宮川水系の治水対策対応状況【三重県】 H26. 12. 25

## 平成 26 年度の対応

1. 熊野川支川堆積土砂撤去 約 7,300 m<sup>3</sup>
2. 熊野川本川浅里地区で、砂利採取について調整中
3. 砂防事業による河川への土砂流出抑止  
(5 溪流で事業実施中のうちジャングの谷、北の谷完成予定)
4. 熊野川浅里地先に設置した水位計による水位観測の実施
5. 量水標を順次設置予定(熊野川北檜杖、浅里、和気、小船)
6. 災害対策等緊急事業推進費による土砂撤去予定 約 10,000 m<sup>3</sup>

## 平成 25 年度の対応

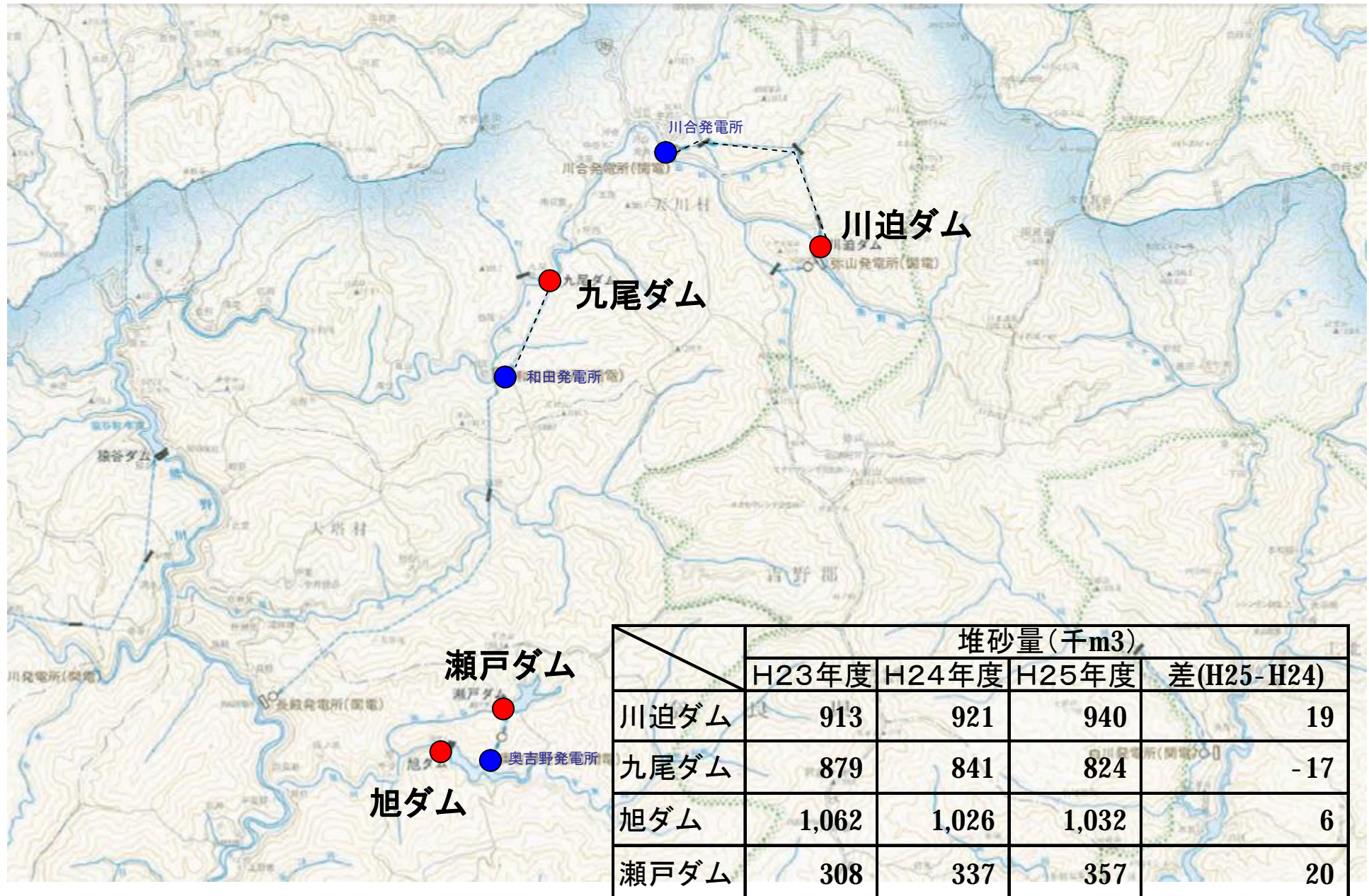
1. 熊野川支川堆積土砂撤去 約 44,100 m<sup>3</sup>
2. 熊野川本川浅里地区で、約 5,100 m<sup>3</sup>の砂利採取を実施
3. 砂防事業による河川への土砂流出抑止  
(6 溪流で事業実施中のうち宇田口ノ谷完成)
4. 熊野川浅里地先に水位計を設置

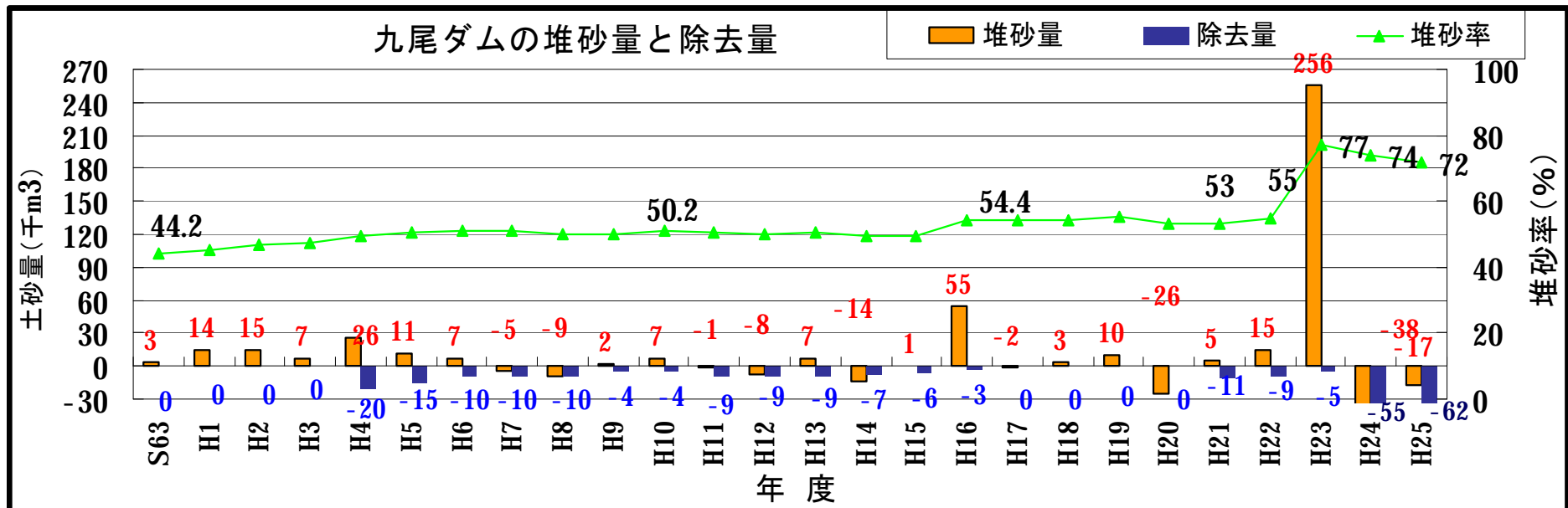
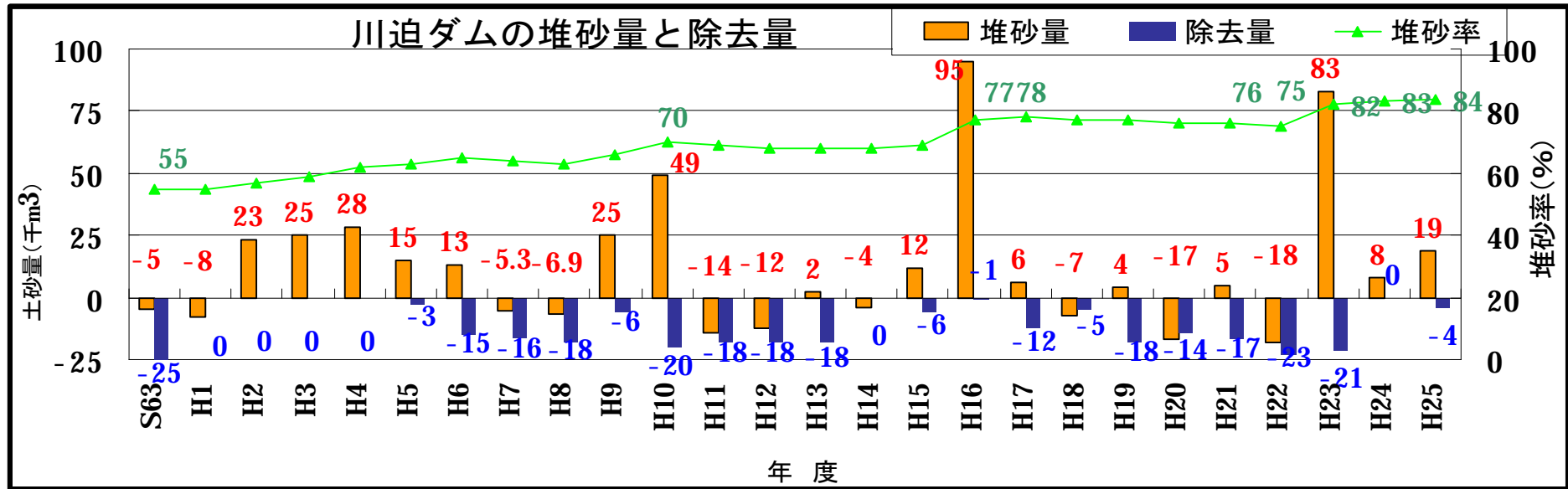




## 関西電力の熊野川流域ダム位置図と堆砂量

1



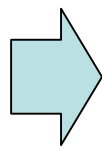


・S63年～H22年までの平均堆砂量V≒5.3千m<sup>3</sup>(H16の台風除くと平均堆砂量V≒3.1千m<sup>3</sup>)



〔 九尾ダム上流 (No.7断面付近) 〕

着工前 (撮影H26.4.1)



完了 (撮影H26.6.14)



電源開発株式会社  
西日本支店

## 堆積土砂の対応状況について（ダム 電源開発(株)西日本支店）

十津川筋（風屋貯水池・二津野調整池）堆砂処理計画・実績

（単位：千 m<sup>3</sup>）

処理地点	平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 25 年度実績	平成 26 年度		備考
				計画	実績 <sup>※2</sup>	
風屋貯水池	0	189	138	100	71	神納川
二津野調整池	92	395	270 <sup>※1</sup>	200	160	本川、西川他
計 (進捗率)	92	584	408	300	232 (77%)	

※1 浚渫試験施工分 5 千 m<sup>3</sup> を含む

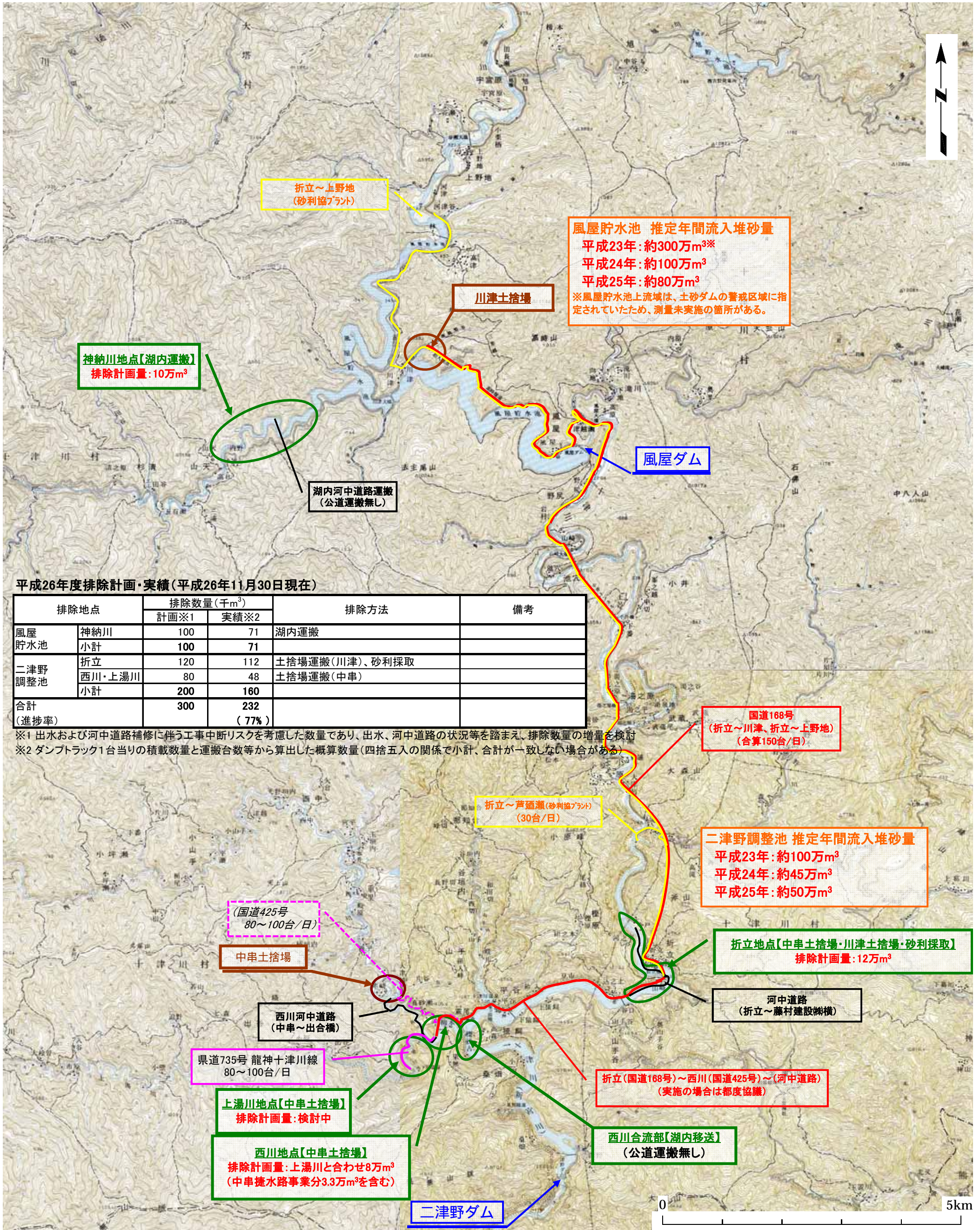
※2 平成 26 年 11 月末時点実績（四捨五入の関係で計が一致しない場合がある）

北山川筋（池原貯水池）堆砂処理計画・実績

（単位：千 m<sup>3</sup>）

処理地点	平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 25 年度実績	平成 26 年度		備考
				計画	実績	
池原貯水池 (進捗率)	20	20	4	7.2	0 (0%)	本川背水終端部 平成 27 年 1 月着工予定

# 平成26年度 十津川筋(風屋貯水池・二津野調整池)堆砂排除計画・実績



**風屋貯水池 推定年間流入堆砂量**  
 平成23年: 約300万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>※  
 平成24年: 約100万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>  
 平成25年: 約80万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>  
 ※風屋貯水池上流域は、土砂ダムの警戒区域に指定されていたため、測量未実施の箇所がある。

**国道168号**  
 (折立～川津、折立～上野地)  
 (合算150台/日)

**二津野調整池 推定年間流入堆砂量**  
 平成23年: 約100万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>  
 平成24年: 約45万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>  
 平成25年: 約50万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>

**折立地点【中串土捨場・川津土捨場・砂利採取】**  
 排除計画量: 12万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>

河中道路  
 (折立～藤村建設橋)

折立(国道168号)～西川(国道425号)～(河中道路)  
 (実施の場合は都度協議)

西川合流部【湖内移送】  
 (公道運搬無し)

平成26年度排除計画・実績(平成26年11月30日現在)

排除地点	排除数量(千 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> )		排除方法	備考
	計画※1	実績※2		
風屋貯水池				
神納川	100	71	湖内運搬	
小計	100	71		
二津野調整池				
折立	120	112	土捨場運搬(川津)、砂利採取	
西川・上湯川	80	48	土捨場運搬(中串)	
小計	200	160		
合計 (進捗率)	300	232 (77%)		

※1 出水および河中道路補修に伴う工事中断リスクを考慮した数量であり、出水、河中道路の状況等を踏まえ、排除数量の増量を検討  
 ※2 ダンプトラック1台当りの積載数量と運搬台数等から算出した概算数量(四捨五入の関係で小計、合計が一致しない場合がある)

(国道425号  
 80～100台/日)

中串土捨場

西川河中道路  
 (中串～出合橋)

県道735号 龍神十津川線  
 80～100台/日

上湯川地点【中串土捨場】  
 排除計画量: 検討中

西川地点【中串土捨場】  
 排除計画量: 上湯川と合わせ8万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>  
 (中串捷水路事業分3.3万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>を含む)

二津野ダム

0 5km